

2025年3月19日

各位

株式会社 大垣共立銀行

神戸町およびバイウィルとの 「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」の締結



大垣共立銀行（頭取 林 敬治）は本日、神戸町（町長 藤井 弘之）および株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎）と「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を下記の通り締結しました。

本協定は、OKB大垣共立銀行と神戸町およびバイウィルがJ-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO₂削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与することを目的とするものです。

神戸町は2024年2月、町民・企業・関係団体・行政が一体となって地球温暖化防止対策を積極的に推進し、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を掲げました。さらに2025年からは、まちの将来像「みんなの笑顔 未来へつなごう」ともに支えあうまち「ごうど」を目指し、町民が快適で安心して住むことができる環境を次世代に引き継ぐため、脱炭素に向けた取り組みを進めています。

OKB大垣共立銀行は、“環境価値と経済価値の循環”を支援するバイウィルと連携し、神戸町内の環境貢献努力によって創出されるJ-クレジットの「地産地消」をサポートすることにより、神戸町のカーボンニュートラル達成への貢献を目指します。

記

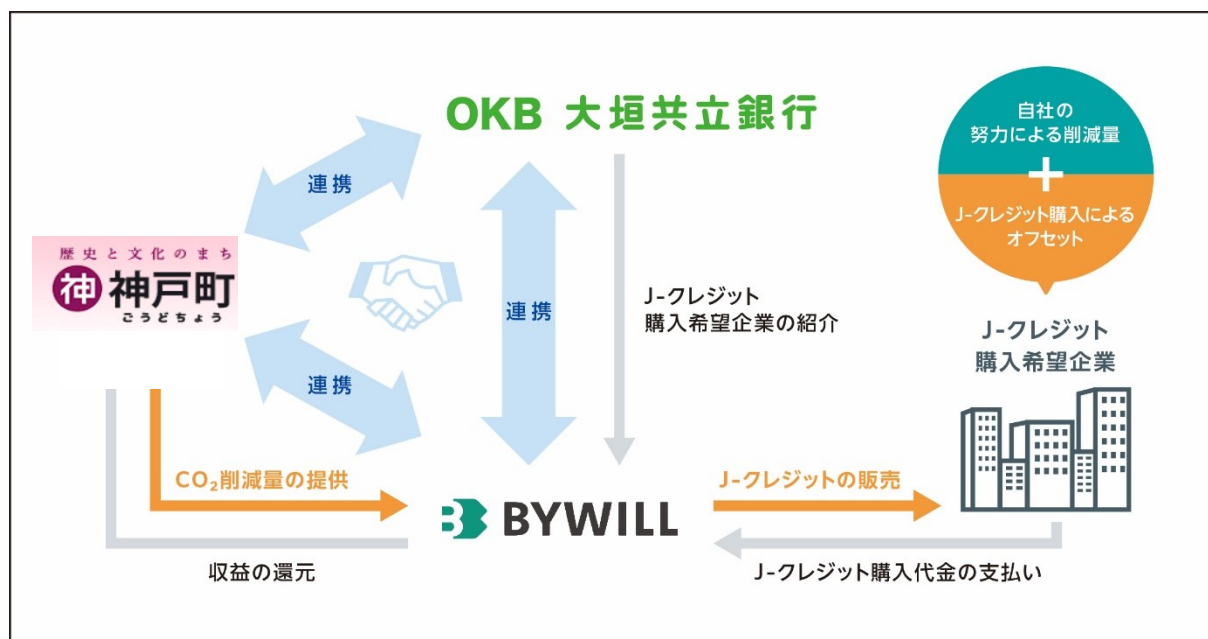
■連携協定の概要

名 称	ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定
締 結 日	2025年3月19日（水）
締 結 者	OKB大垣共立銀行、神戸町、株式会社バイウィル
目 的	J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、CO ₂ 削減事業の推進などを通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与する
連携内容	1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウなどの提供 2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出 3) その他、本協定の目的に資すると認める事項

以 上



【連携協定内容のイメージ】



以上